

剥離紙用シリコーン（付加型・軽剥離用） TPR6722

TPR6722は付加溶剤型剥離紙用シリコーンで、軽剥離タイプです。触媒にはCM670を用い、本体：触媒＝100：1（重量部）が標準処方です。

特 長

- 各種粘着剤に対して軽剥離力を示します。
- 軽剥離タイプの中では比較的シリコーンの移行が少なく、高残留接着率を示します。
- 軽剥離タイプの中では剥離の速度依存性が比較的小さいタイプです。
- TPR6721に比較し、低温硬化性に優れています。

用 途

- 各種壁紙、ラベルなどの剥離紙
- 各種剥離フィルム
- 紙、繊維などの撥水処理
- 両面テープ用剥離紙

一般物性

項 目		特性値
外観		無色透明
不揮発分	%	30
粘度	Pa・s {cP}	15 {15,000}
比重（25℃）		0.90
含有溶剤		トルエン

剥離特性例

項 目			特性値
剥離力	(0.3m/min)	N/5m {gf/5cm}	16 {16}
	(60m/min)	N/2.5m {gf/2.5cm}	141 {144}
	(100m/min)	N/2.5m {gf/2.5cm}	181 {185}
残留接着率	%		96
硬化性（90℃）	s		15

（当社標準試験法による測定値）

試験条件概要

剥離紙の調製

基材：ポリエチレンラミネート紙（75g/m²）

シリコーン塗工量：0.8g/m² (dry)

硬化条件：140℃ 30秒

剥離力評価

剥離紙養生：シリコーン硬化後25℃ 50%RH下 1 日

粘着剤：溶剤型アクリル系粘着剤BPS8170（東洋インキ製造製）

粘着塗工厚：5mil wet

乾燥：100℃ 3分

貼合紙：上質紙（65g/m²）

粘着紙養生：25℃ 50%RH下 1 日

残留接着率

測定テープ：ニットー31Bテープ（日東電工製）

養生条件：20g/cm² 荷重下70℃ 20時間

硬化性

設定温度におけるスミア・ラブオフのなくなるまでの秒数

使用方法

TPR6722はトルエンあるいはヘキサンなどの希釈溶剤で所望の濃度に希釈溶解した後、触媒を添加混合します。

処理液配合例（シリコーン分5%の場合）

材料	（重量部）
TPR6722	100
トルエン	499
CM670	1
計	600

使用上の注意

- 本品は付加反応型シリコーンです。処理液には触媒毒となるようなアミン、イオウ、有機スズなどの物質の混入がないように注意してください。
- 酸・アルカリと反応して分解して、水素ガスが発生しますので、接触させないようにしてください。
- 取扱時には、保護眼鏡および必要に応じて保護手袋を着用してください。
- 引火性があるため、火気のないところで取り扱ってください。

○子供の手の届かない所に保管してください。

CM670 180gガラスビン (1ケース20P)

TPR6722	CM670
危険物第4類第1石油類該当	

・仕様書を要求される場合は、営業を通してお求めください。